

## I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が50.7%、「少し感じている」が24.0%と、愛着や誇りを感じている人が74.7%となっている。一方、「あまり感じていない」が2.8%、「感じていない」が1.5%と愛着や誇りを感じていない人は、4.3%と1割に満たない。

平成28年度-令和2年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、29年度以降は約7割とほぼ横ばいで推移しているが、2年度は前年度より3ポイント増加している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳代以上が最も高く、30歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は男女共に70歳代が高くなっている。一方で、男性は20歳代が、女性は30歳代が最も低くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、中部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図1 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(n=1,642)

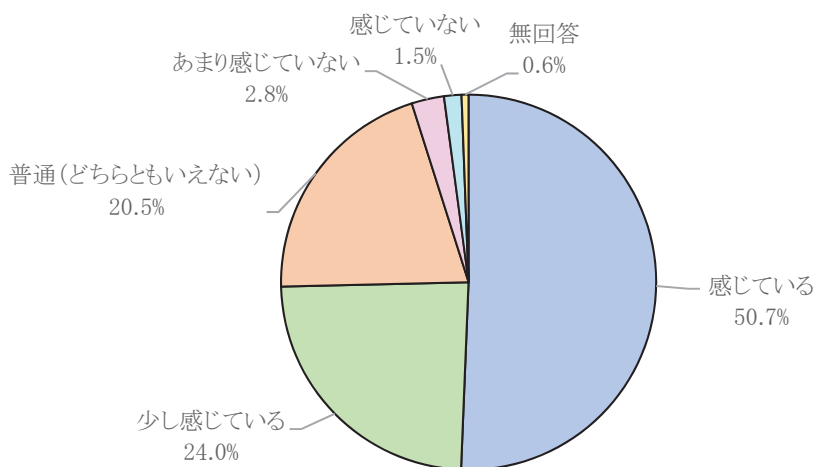


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて

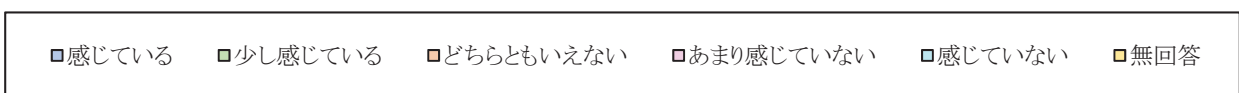
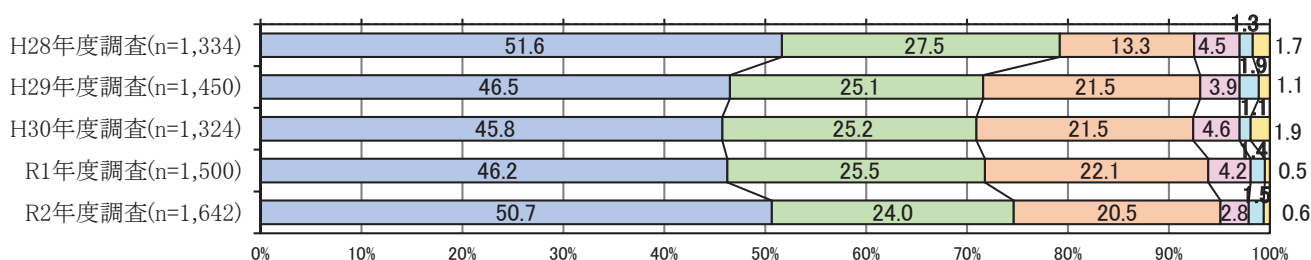
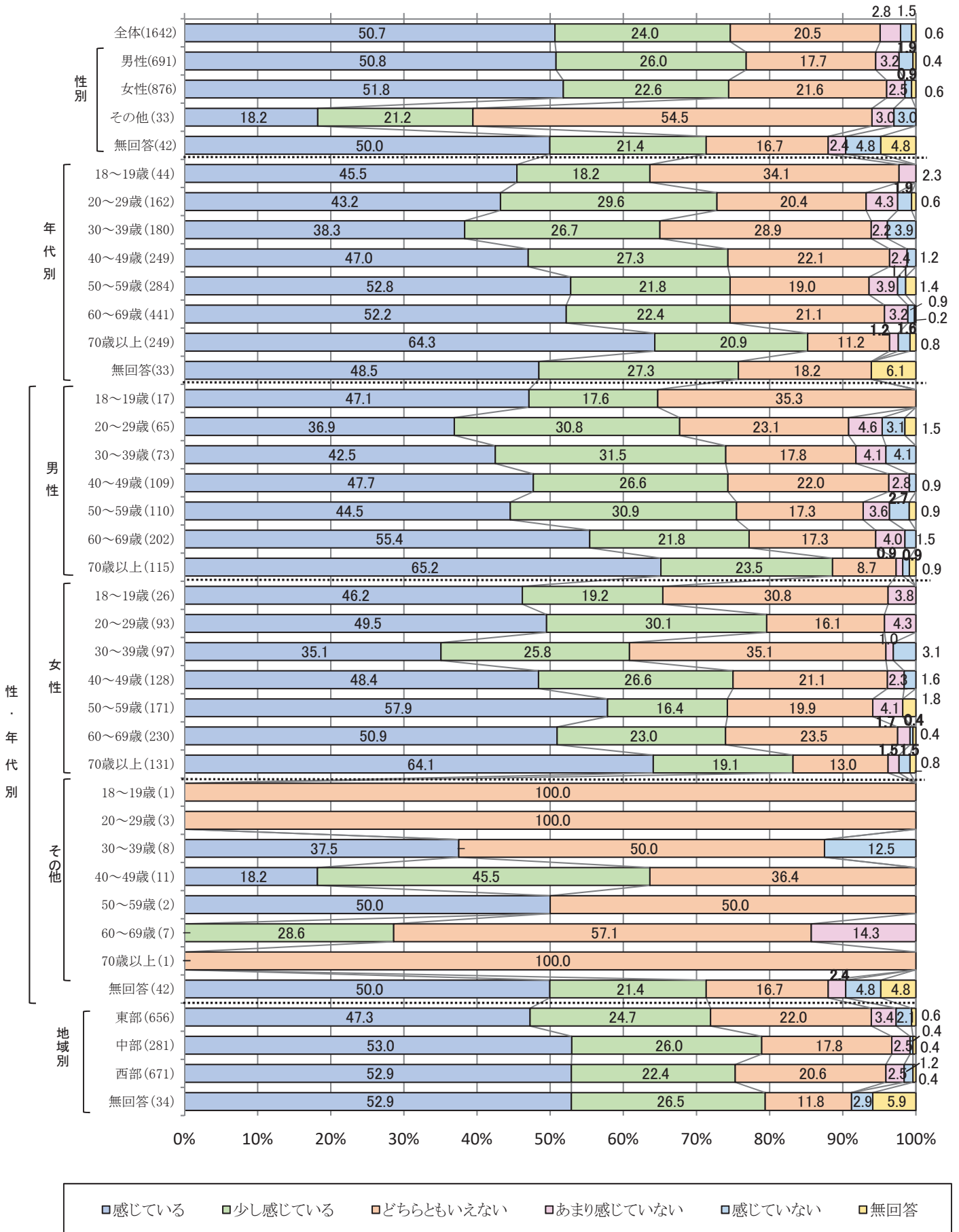


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」と約7割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が24.8%、「どちらかという住みやすい」が45.9%と、住みやすいと答えている人が70.7%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が4.9%、「住みにくい」が1.5%と、住みにくいと答えている人は6.4%となっている。

平成28年度-令和2年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は減少傾向にあったが、2年度は前年度より9.4ポイント増加している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、60歳代以上が高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は40歳代と60歳代以上が高く、女性は40歳代以上が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,642)

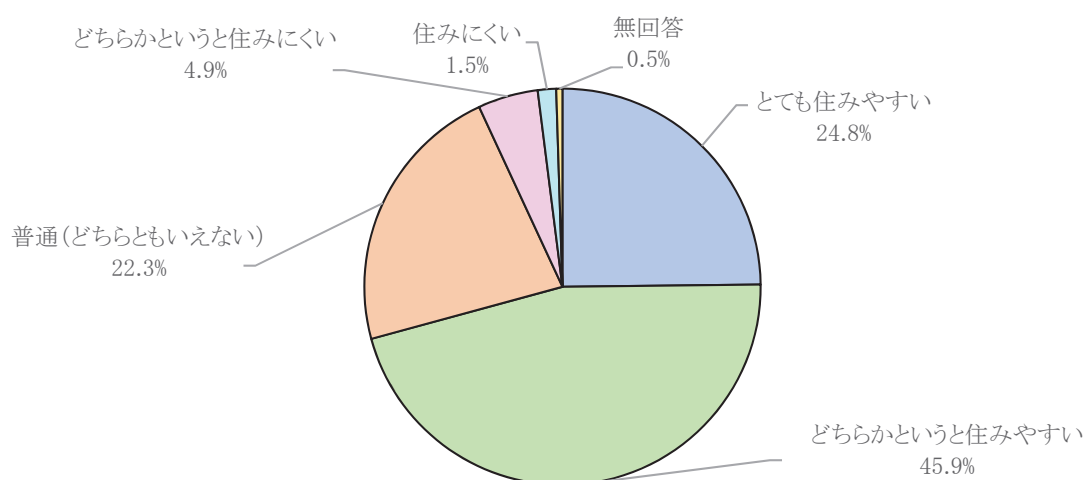
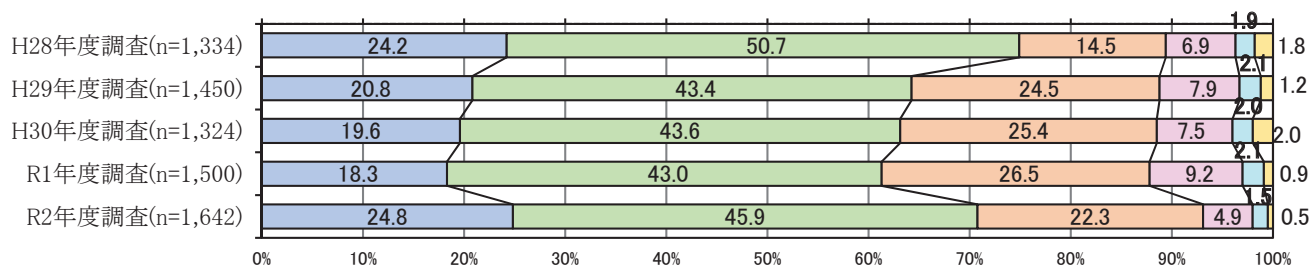
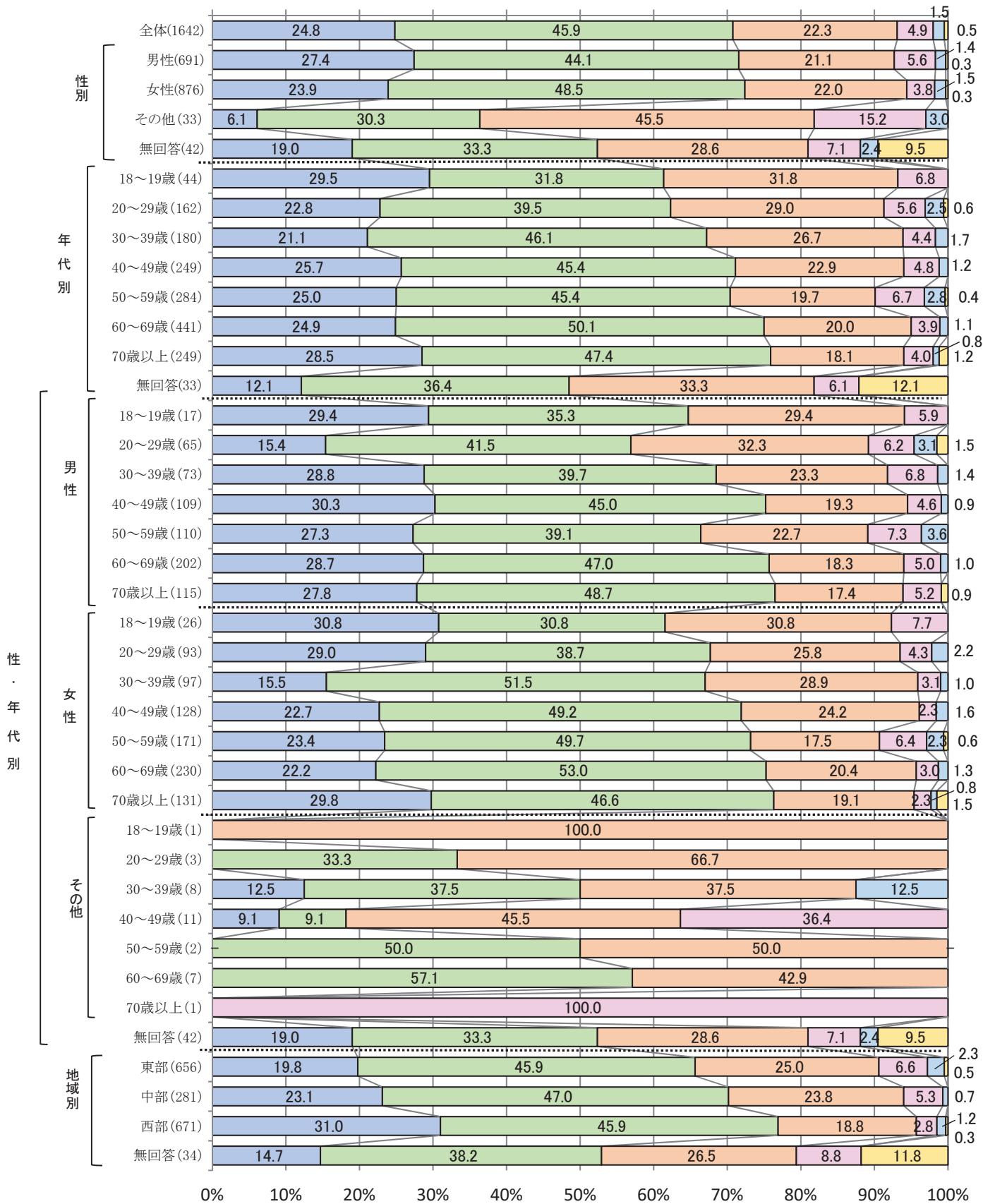


図5 今暮らしている地域の住みやすさ



■とても住みやすい ■どちらかという住みやすい ■どちらともいえない ■どちらかという住みにくい ■住みにくい ■無回答

図6 今暮らしている地域の住みやすさ



とても住みやすい
  どちらかという住みやすい
  どちらともいえない
  どちらかという住みにくい
  住みにくい
  無回答

問3 鳥取県内に暮らしていて、次の項目（設問）についてどう思われますか。  
項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県内に暮らしていてよく感じる（そう思う）項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が91.7%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が66.8%、「住んでいる住民（県民）が親切である」が55.8%、「地域での人と人とのつながりがある」が54.4%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県内に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県内に暮らしていて良いと感じない（そう思わない）項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が53.3%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が13.6%、「ストレスなく日常生活を送ることができている」が11.4%と続いている。

平成28年度～令和2年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる（そう思う）回答が全ての年度で約9割、「地域の治安が良いと感じている」が6割台、「住んでいる住民（県民）が親切である」「地域での人と人とのつながりがある」が5割台となっている。

一方、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は1割台で概ね横ばい、「地域の防災組織が整っている」「子どもの教育環境が充実している」は全ての年度で2割台ではあるが上昇傾向が認められる。

また、前年度（元年度）との比較では、「子育て支援が充実している」「ストレスなく日常生活を送ることができている」についてよく感じる（そう思う）とした割合は前年度より5ポイント以上増加している。

図7 鳥取県内の暮らしについて(n=1,642)

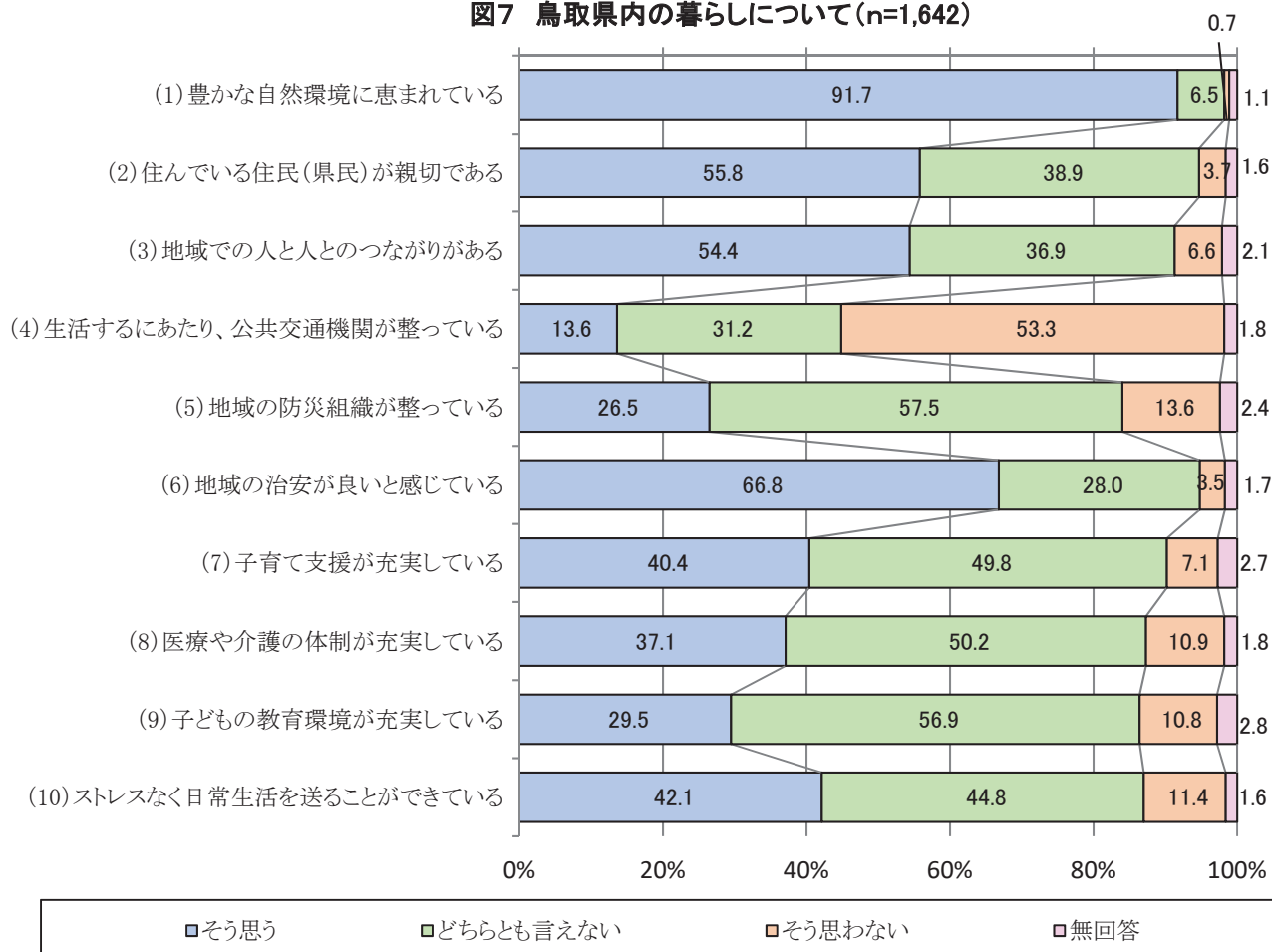
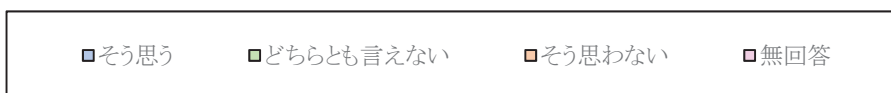
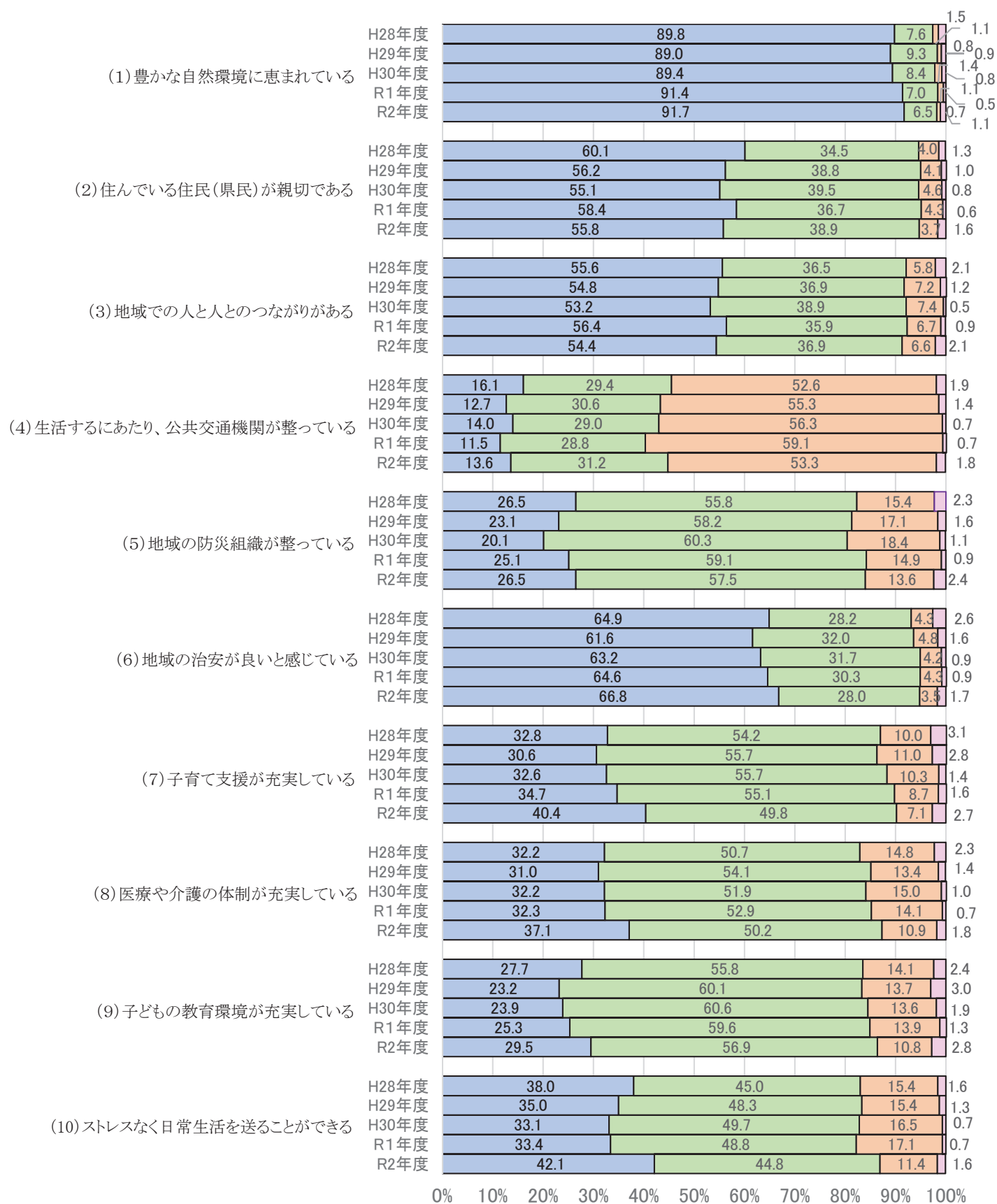


図8 鳥取県内の暮らしについて(n=1,648)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。

～5「普通」から10「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5「普通」が25.9%と最も割合が高く、「8」が21.1%、「7」が18.9%、「6」が12.7%と続き、「5普通」以上と回答した割合は91.3%となっており、前年度より6.8ポイント増加している。

図9 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(n=1,642)

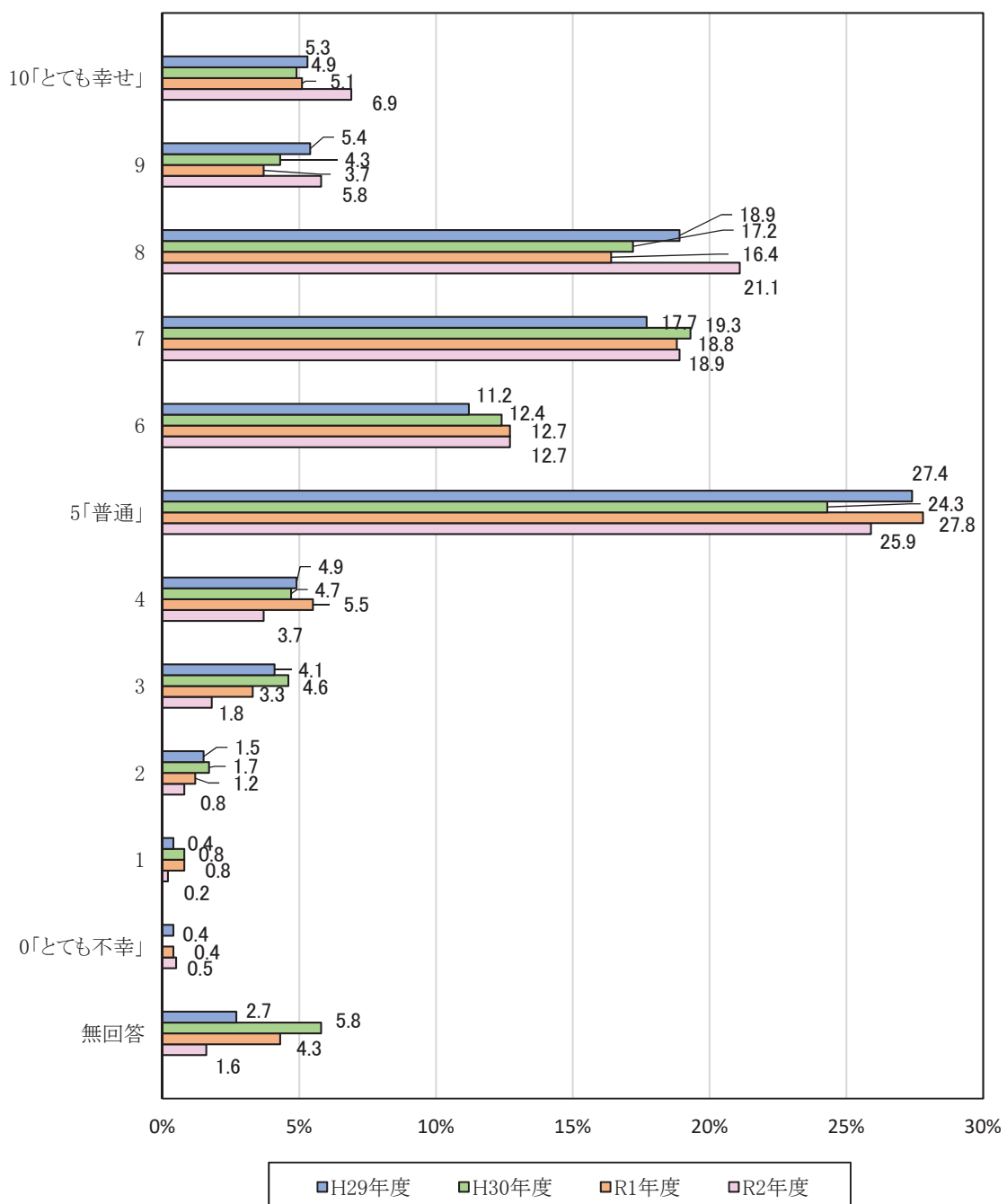
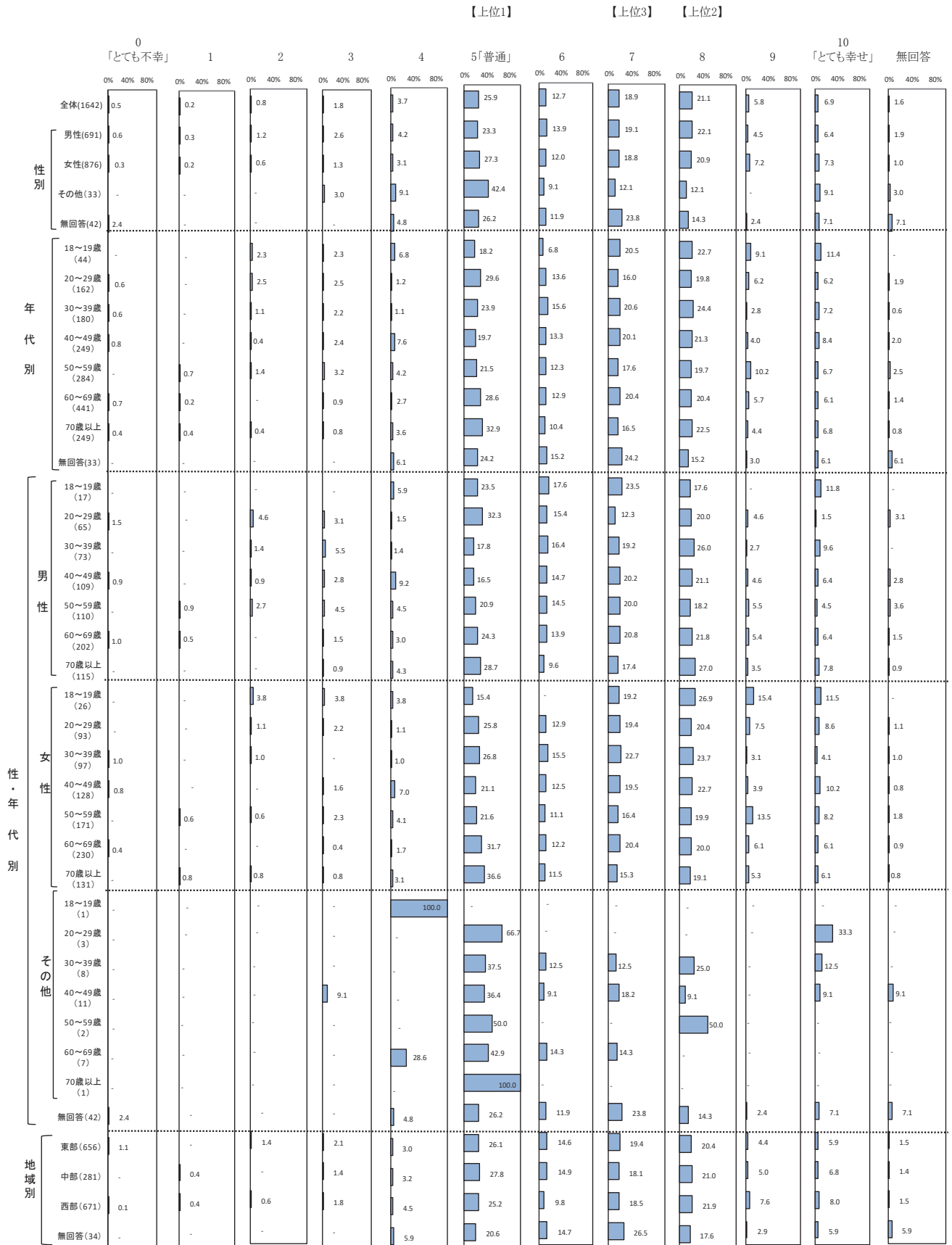


図 10 鳥取県に暮らして、「幸せ」ですか





問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。  
 (〇はいくつでも)

～「自身の健康の状況」「家計の状況」が6割以上～

幸福度を判断するときに重視することは、「自身の健康の状況」が68.0%と最も割合が高く、次いで「家計の状況」が66.4%、「家族関係」が56.8%となっている。

平成29年度-令和2年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。また、前年度(元年度)との比較では「仕事(学校)の充実度」、「友人関係」、「自然環境(住みやすさ)」の割合が3～4ポイント増加している。

年代別でみると、「自身の健康状況」「家計の状況」は30歳代以上で割合が高く、「自由な時間(充実した余暇)」は20歳代、「精神的なゆとり」は30歳代の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「自身の健康の状況」は女性の30歳代以上、「家計の状況」は女性の30～50歳代で7割以上と高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは(n=1,642)

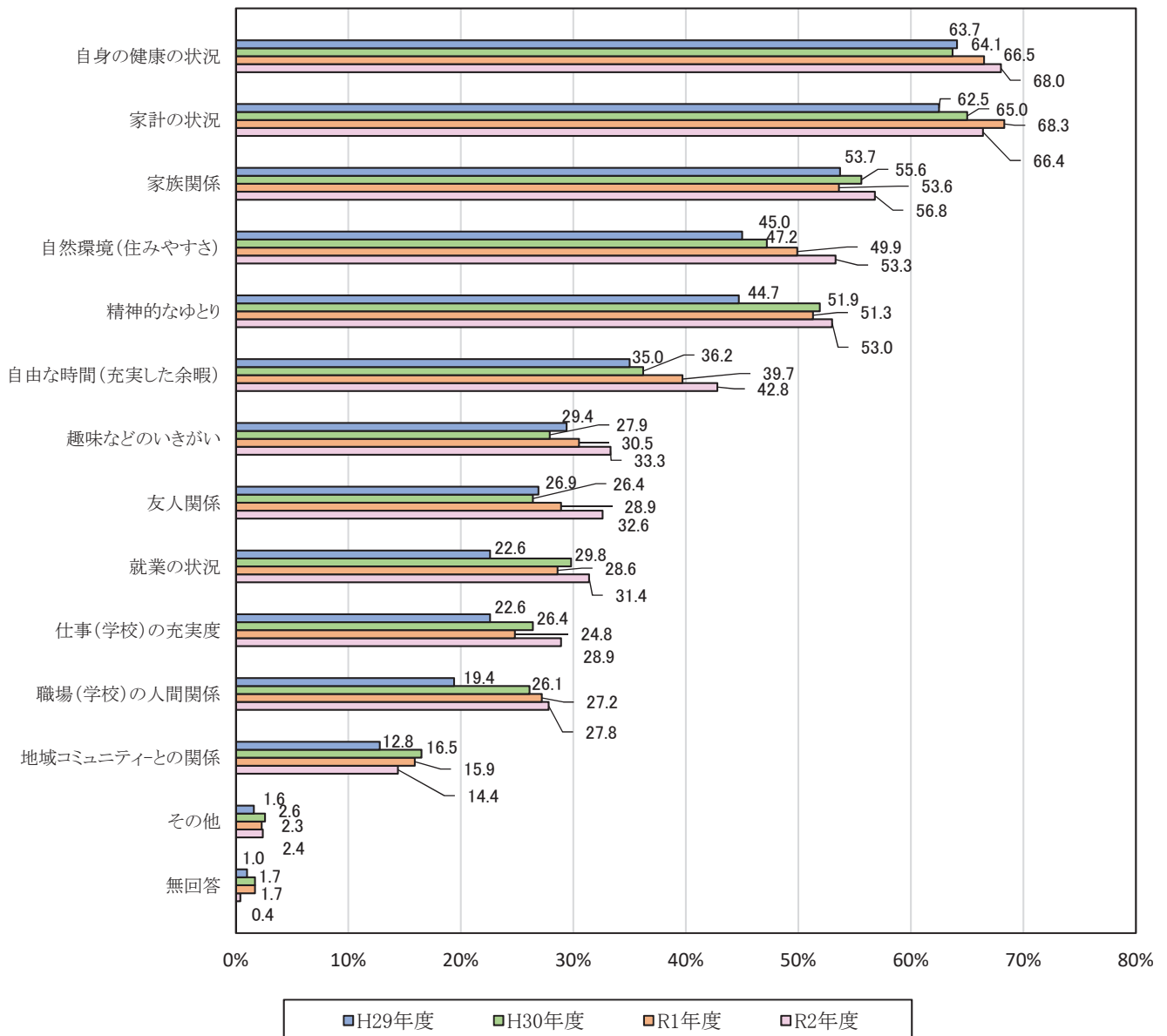


図 12 「幸福度」の判断で重視すること

